IoT 介護見守りシステム

ミマモリ君ローカル

総合マニュアル

2017 年 11 月

〈総販売元〉 トーカイセキュリティ株式会社

〈販売代理店〉

前提ソフトウェア

本ソフトウェアは Windows 専用です

Windows7、Windows8、Windows8.1 で動作が確認されています。

本ソフトウェアは.netFrameWork4.5 以上を前提ソフトウェアとしています。

ご使用いただく前にお使いの Windows に.netFrameWork4.5 がインストールされていることのご確認をお願いいたします。

ご注意

本ソフトウェアは株式会社ミオ・コーポレーション製バイタルセンサ・ベッドセンサを使用する際のデモンストレーションアプリであり、医療機関や介護施設などでご使用いただき事故が発生して弊社は一切の責任を負いません。

本ソフトウェアを使用される前に使用するセンサーの設置と初期設定、無人学習を完了させてください。

目次

■設定編

1．初期設定

1－1. バイタルセンサの初期設定

（1） 通信ポートの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1－2. ミマモリ君初期設定

（1） メール設定（SMTP.inf）の編集 ・・・・・・・・・・・ 4

（2） スタッフメンテナンス ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（3） スケジュールメンテナンス ・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（4） 初期パスワードの変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

（5） グラフソフトの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

（6） センサーの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

しきい値の入力、無人学習 ・・・・・・・・・・・・・・ 10

しきい値のめやす ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

（7） 見守り画面に数値が表示されない場合の対処法 ・・・・ 12

■操作編

2． 見守りの開始と停止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

3． 発報時の対処 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

4． ログ確認方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

IoT 介護見守りシステム

ミマモリ君ローカル

■設定編

1. 初期設定

１－１. バイタルセンサ初期設定

（1） 通信ポートの設定

はじめに、 バイタルセンサーを付属の USB でパソコンに接続してから行います。

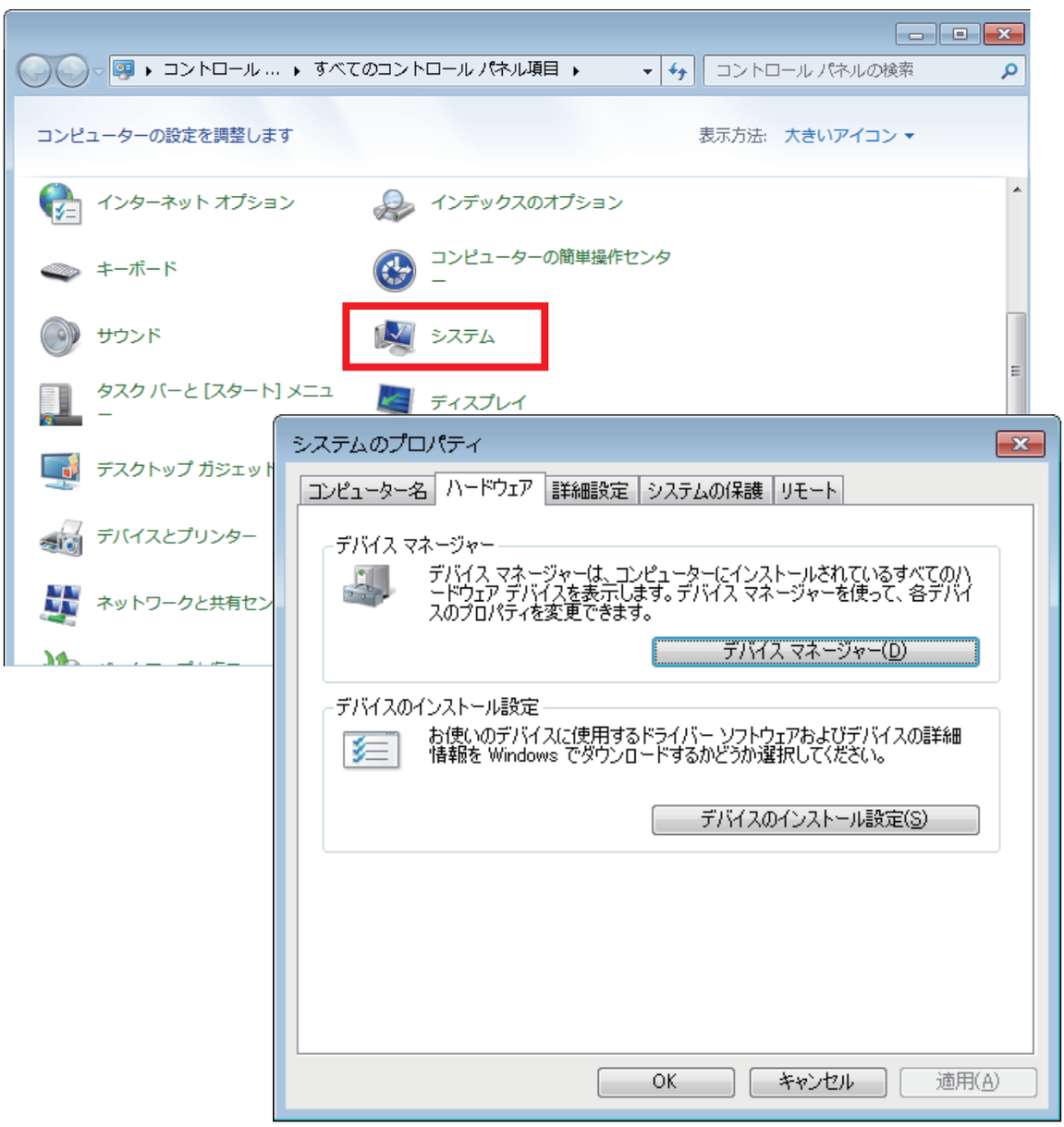
① パソコンのコントロールパネルを開き、「システム」をダブルクリックで開きます。

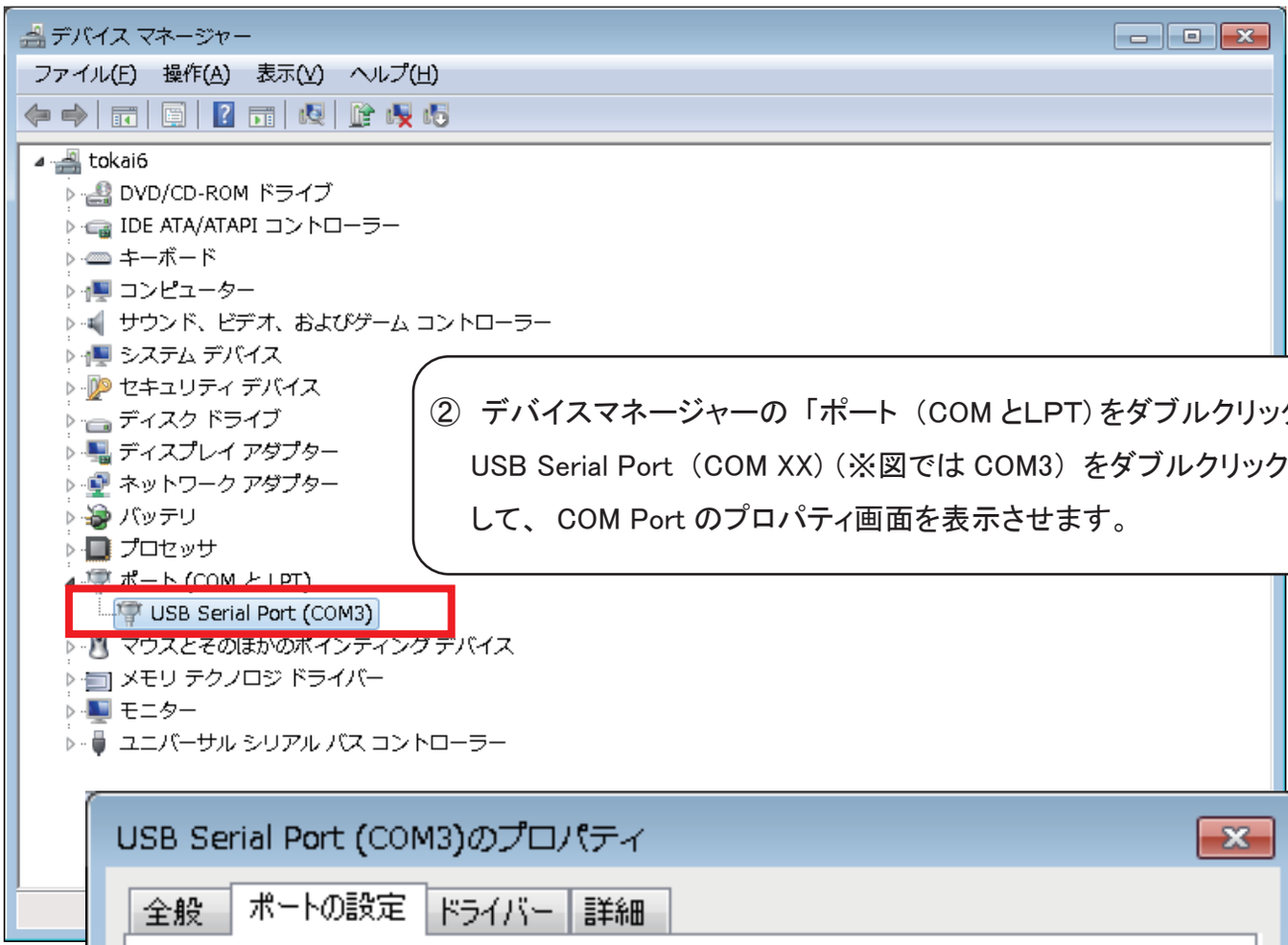
※この設定は、 バイタルセンサー1台ごとにそれぞれ必要です。

バイタルセンサーを増やした場合、 新たに設定してください。

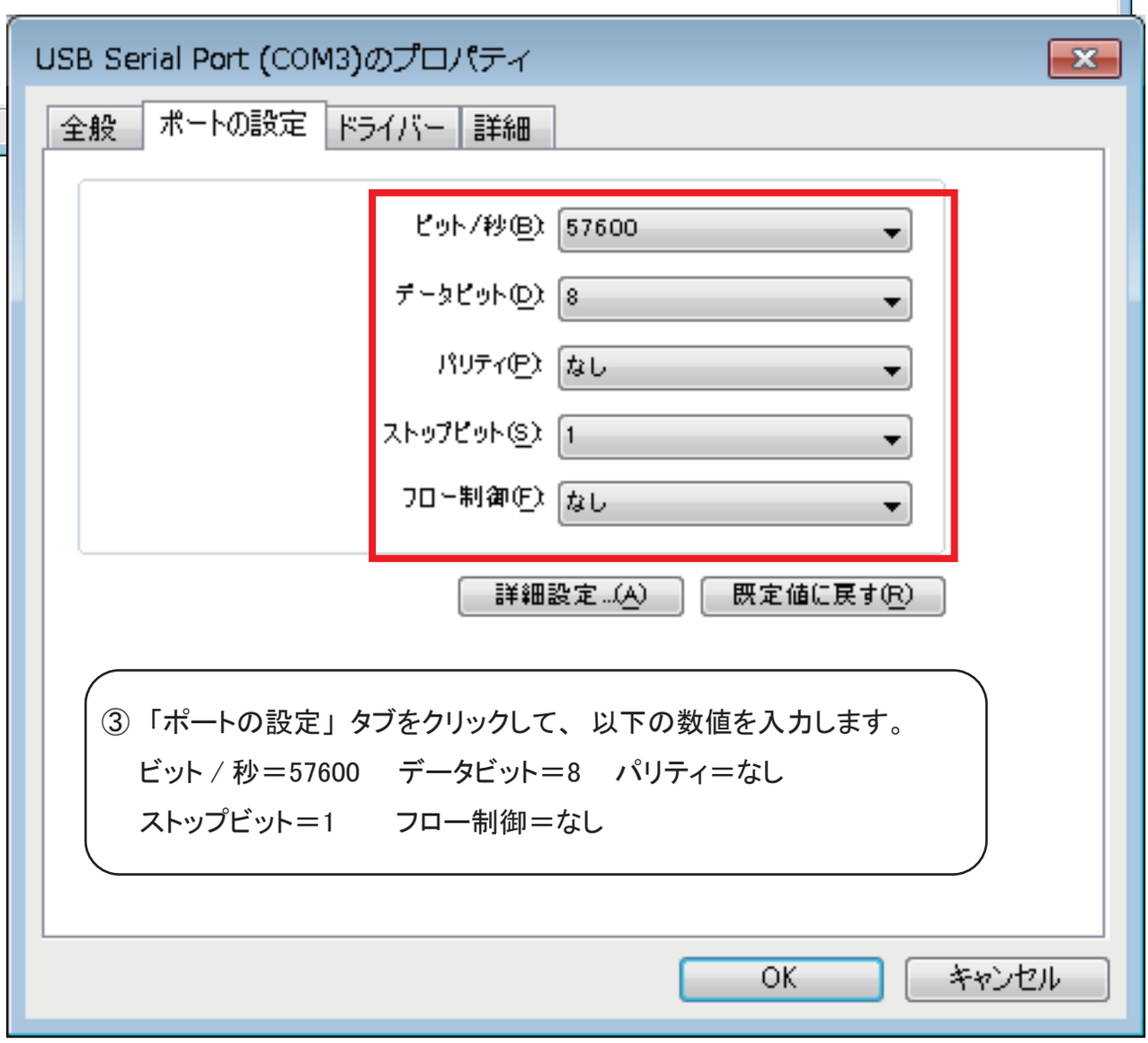
②「システムの詳細設定」をクリックして、「ハードウェア」をクリック→

「デバイスマネージャー」をクリックしてデバイスマネージャー画面を開きます。





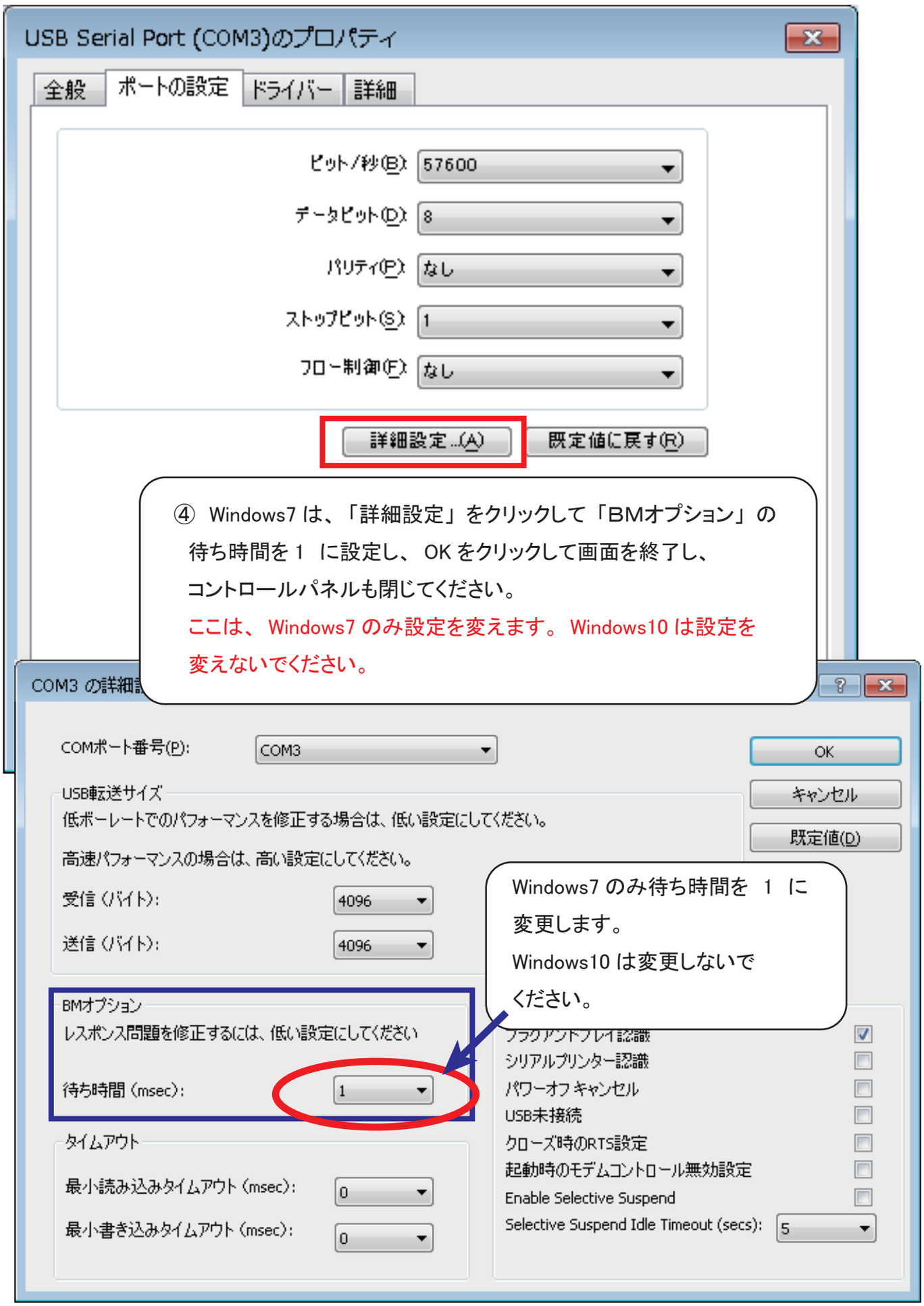
② デバイスマネージャーの「ポート（COM とLPT）をダブルクリックし、USB Serial Port（COM XX）（※図では COM3）をダブルクリックして、 COM Port のプロパティ画面を表示させます。



③「ポートの設定」タブをクリックして、 以下の数値を入力します。

ビット / 秒＝57600　データビット＝8　パリティ＝なし

ストップビット＝1　フロー制御＝なし


USB Serial Port (COM3)のプロパティ
全般
ポートの設定
ドライバー
詳細
ビット/秒(B):
57600
データビット(D):
8
パリティ(P):
なし
ストップビット(S):
1
フロー制御(F):
なし
詳細設定...(A)
既定値に戻す(R)
④ Windows7 は、「詳細設定」をクリックして「BMオプション」の待ち時間を 1 に設定し、 OK をクリックして画面を終了し、コントロールパネルも閉じてください。
ここは、 Windows7 のみ設定を変えます。 Windows10 は設定を変えないでください。
COM3 の詳細
COMポート番号(P):
COM3
OK
キャンセル
既定値(D)
USB転送サイズ
低ボーレートでのパフォーマンスを修正する場合は、低い設定にしてください。
高速パフォーマンスの場合は、高い設定にしてください。
受信 (バイト):
4096
送信 (バイト):
4096
BMオプション
レスポンス問題を修正するには、低い設定にしてください
待ち時間 (msec):
1
タイムアウト
最小読み込みタイムアウト (msec):
0
最小書き込みタイムアウト (msec):
0
Windows7 のみ待ち時間を 1 に変更します。
Windows10 は変更しないでください。
プラグアンドプレイ認識
シリアルプリンター認識
パワーオフ キャンセル
USB未接続
クローズ時のRTS設定
起動時のモデムコントロール無効設定
Enable Selective Suspend
Selective Suspend Idle Timeout (secs):
5

1-2.「ミマモリ君」 初期設定

はじめに、 ミマモリ君 .zip をパソコンにコピーして解凍後、「ミマモリ君ローカル版実行ファイルフォルダ」をパソコンのCドライブの直下においてください。

（1） メール設定 （SMTP.inf）の編集

ミマモリ君のインストールフォルダ直下にある SMTP.inf を編集することにより、メール送信機能を使用できます。

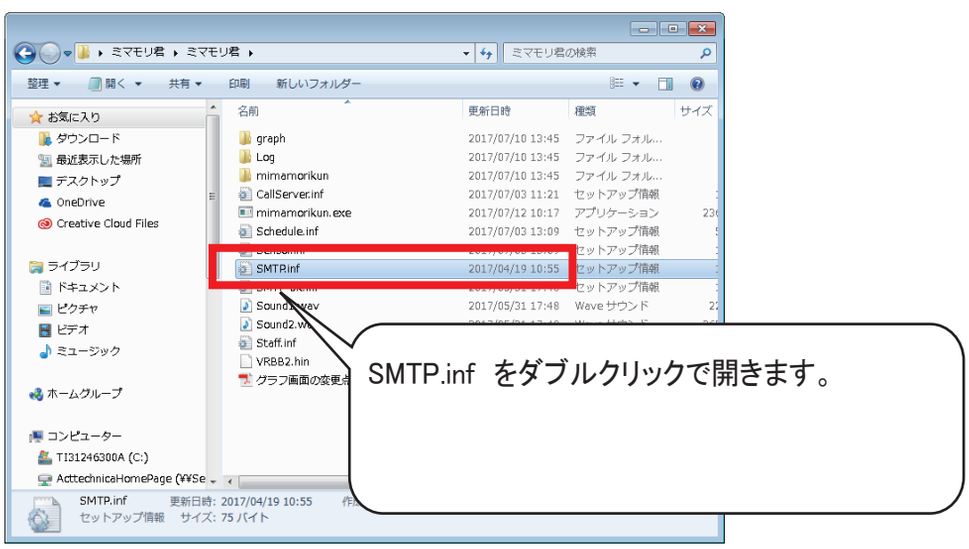
以下、 送信メールサーバーとアカウントの設定を行います。

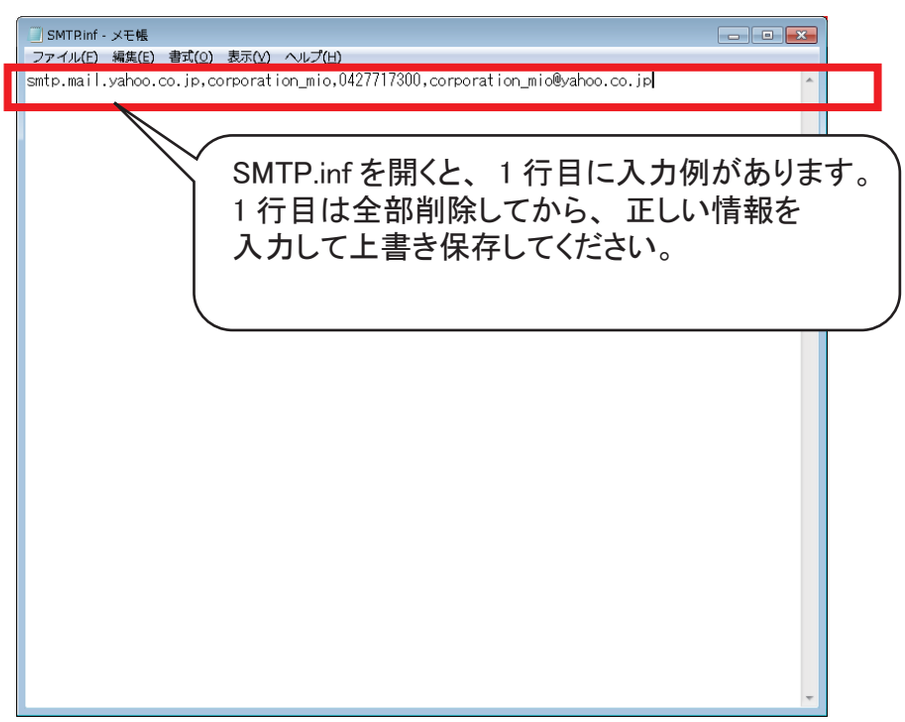
① SMTP.inf をダブルクリックで開きます。

② 文字コードは UTF-8 を使用して以下の通り記述し、 上書き保存してください。

例は Yahoo メールの場合です。
SMTP サーバー名 , メールアカウント名 , メールアカウントのパスワード , メールアドレス
例 ： smtp.mail.yahoo.co.jp,メールアカウント,password,XXXXXXXXX@yahoo.co.jp

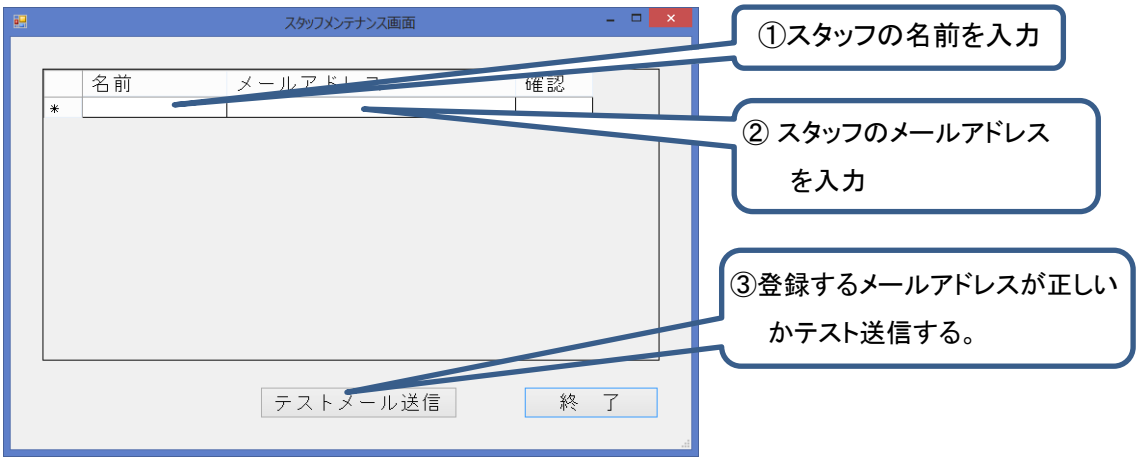
SMTPｻｰﾊﾞｰ名　メールｱｶｳﾝﾄ名　ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　送信 FROM メールアドレス





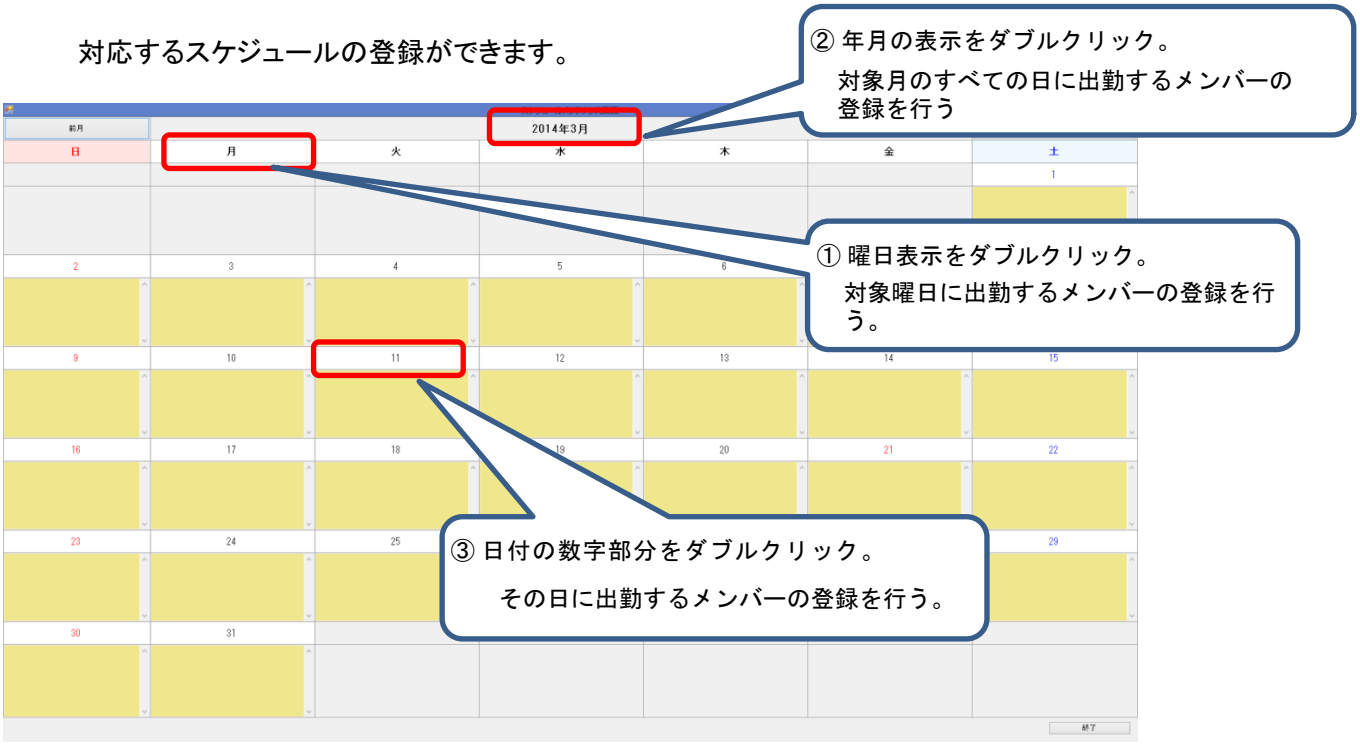
(2)スタッフメンテナンス

スタッフの名前と連絡先(メールアドレス)を設定する画面です。
追加は最終行の空行に入力
削除は、対象者の名前ヨコの空欄を選択して、キーボードのDELキーを押してください。
テストメール送信で登録したメールアドレス宛にメールが送信できるのを確認してください。



(3)スケジュールメンテナンス

対応するスケジュールの登録ができます。



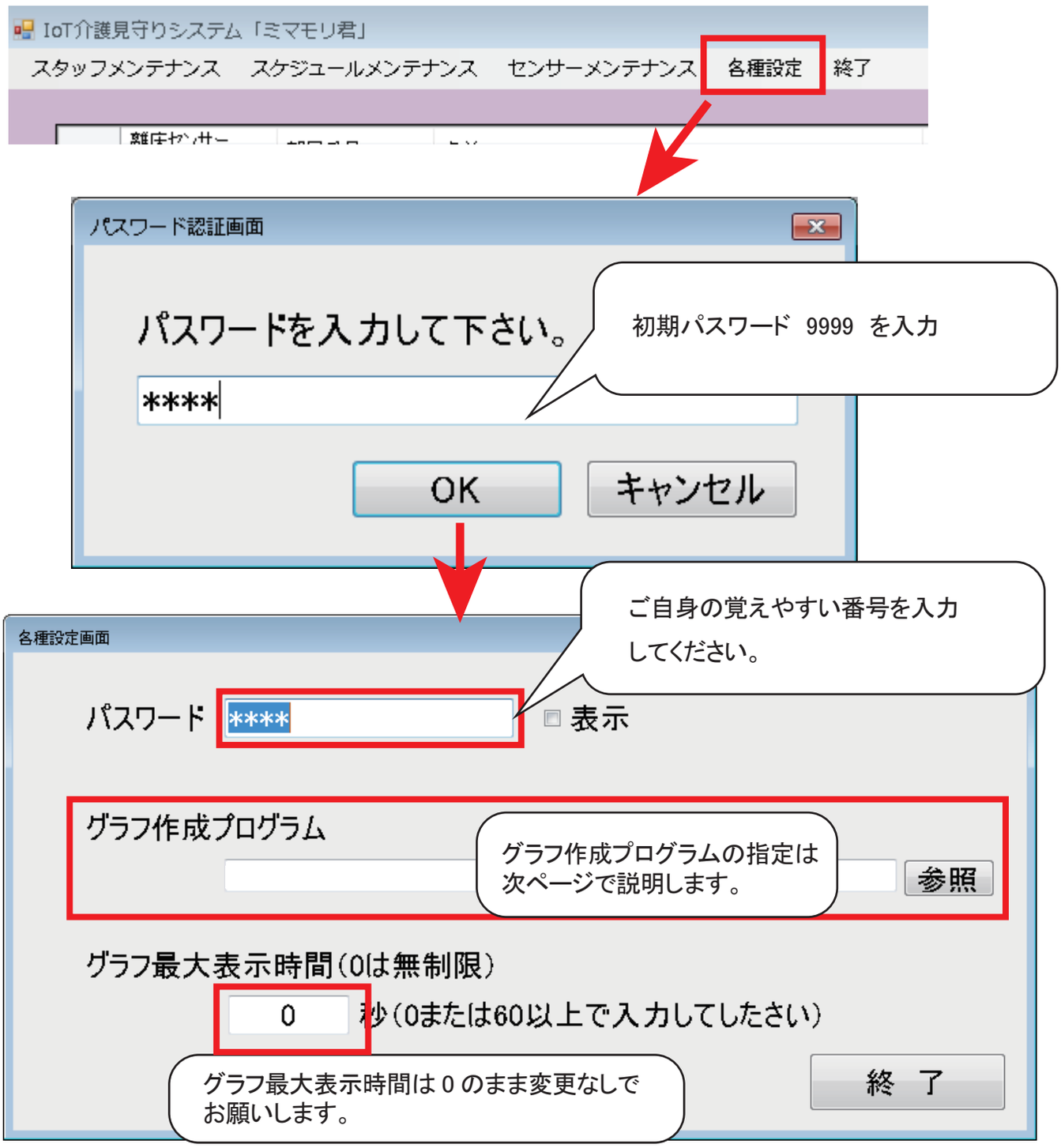
突発休などスケジュールの変更が発生した場合は日付を選択してその日に対応するメンバーを選択して再登録をおこなってください。

●スケジュールに登録したスタッフを一部分だけ削除したい時の手順

・登録したスタッフを消したいときは、 消したい日の日付部分をダブルクリックして
選択画面を開き、 選択されたスタッフは青く反転しているので、 もう一度選択すると
背景の青い反転が消えて白く変わります。
背景が白く変わってから OK を押すと、 スケジュールから消すことができます。

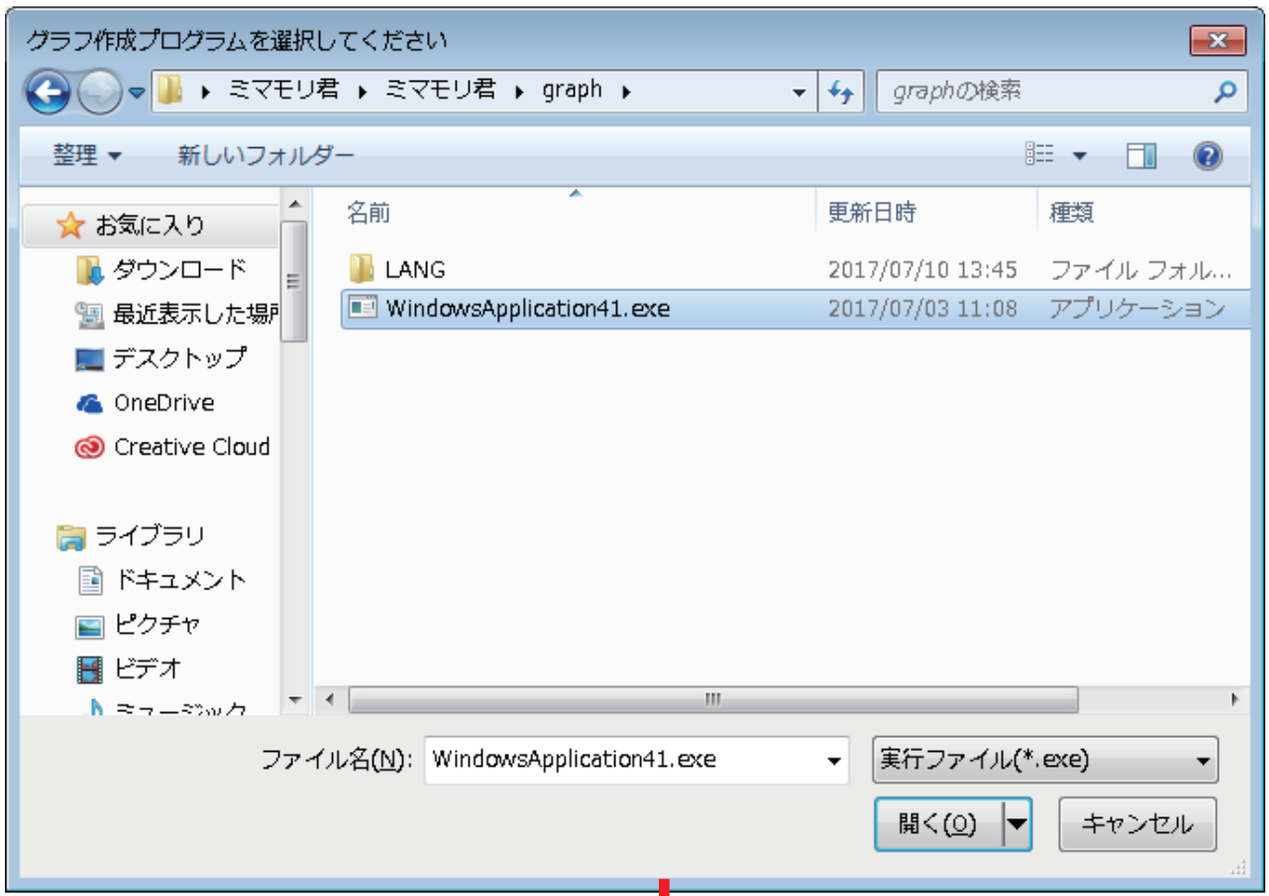
（4）初期パスワードの変更

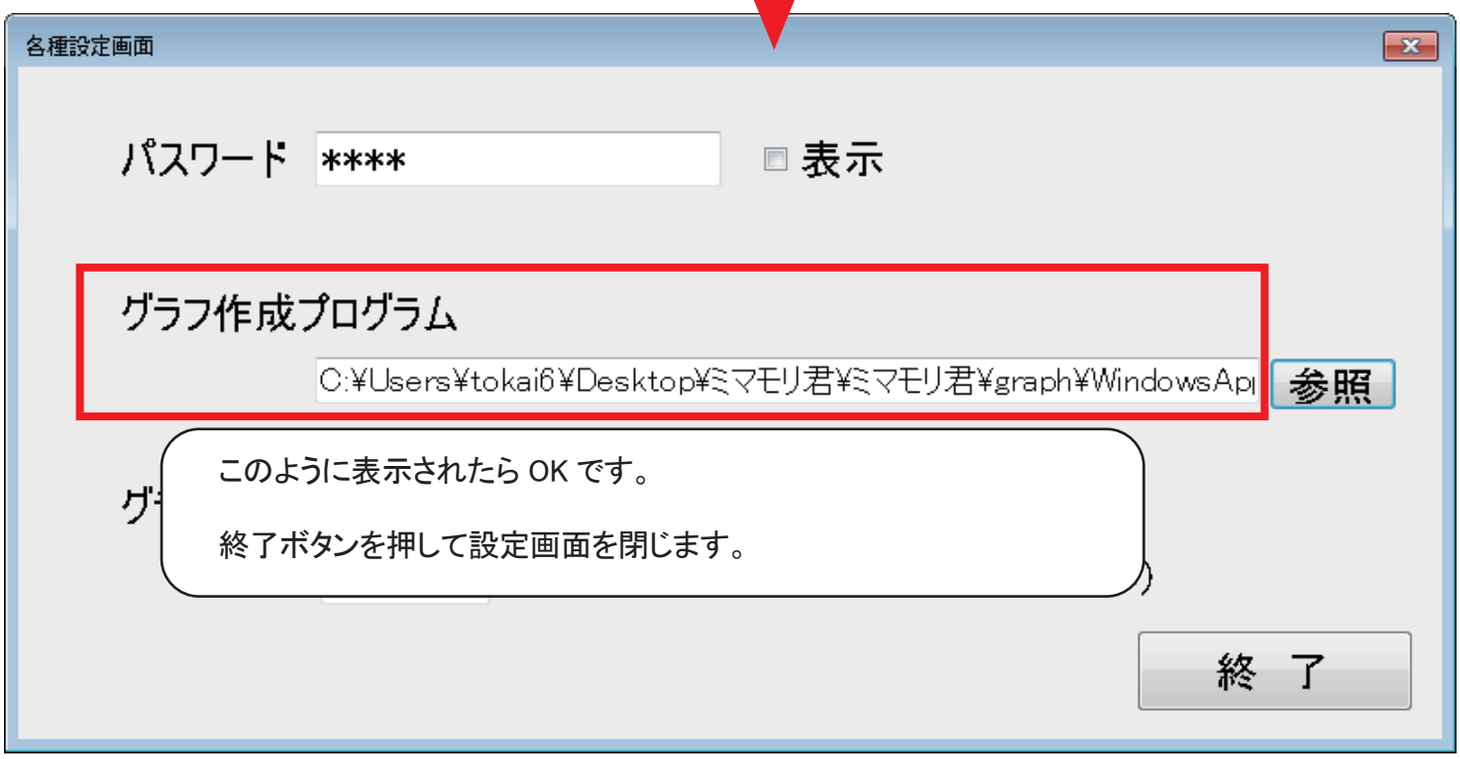
センサーの設定（センサーメンテナンス）を行うには、パスワードの入力が必要です。
ミマモリ画面上部メニューの「各種設定」をクリックして、パスワード確認画面で初期パスワード「9999」を入力してください。



（5）グラフソフトの設定

パスワードの設定画面で、 続けてグラフ作成プログラムの設定をします。
グラフ作成プログラムの脇にある参照ボタンを押して、ミマモリ君フォルダにある graph フォルダの中にある、windowsapprication_4.1.exe を指定し、 開くをクリックします。

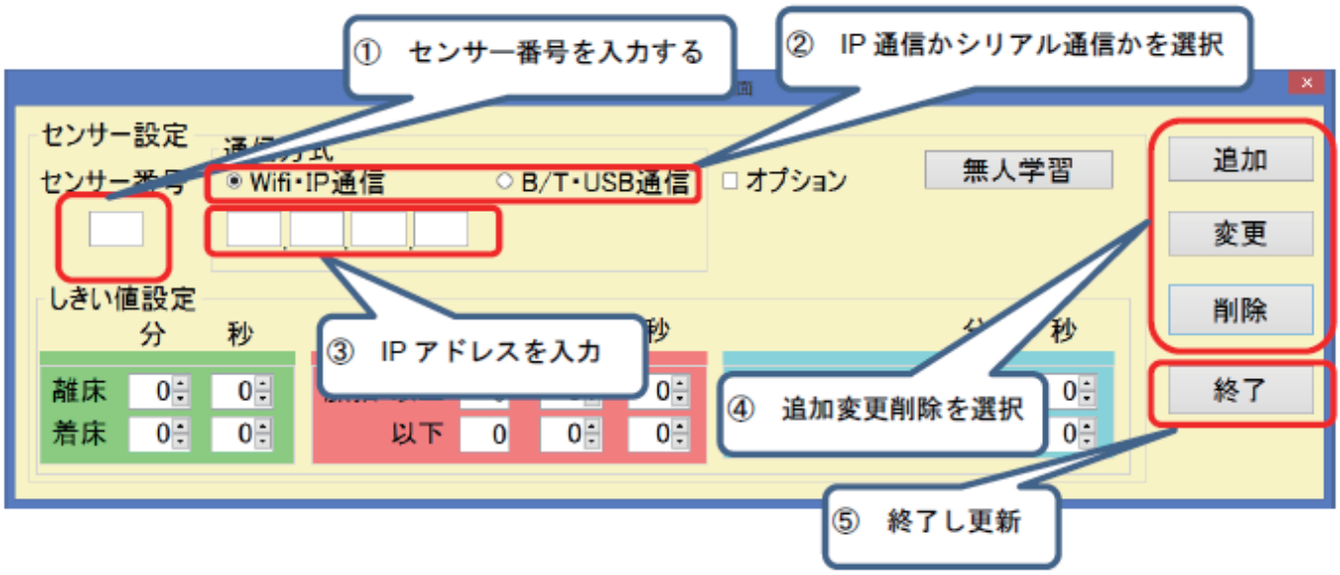




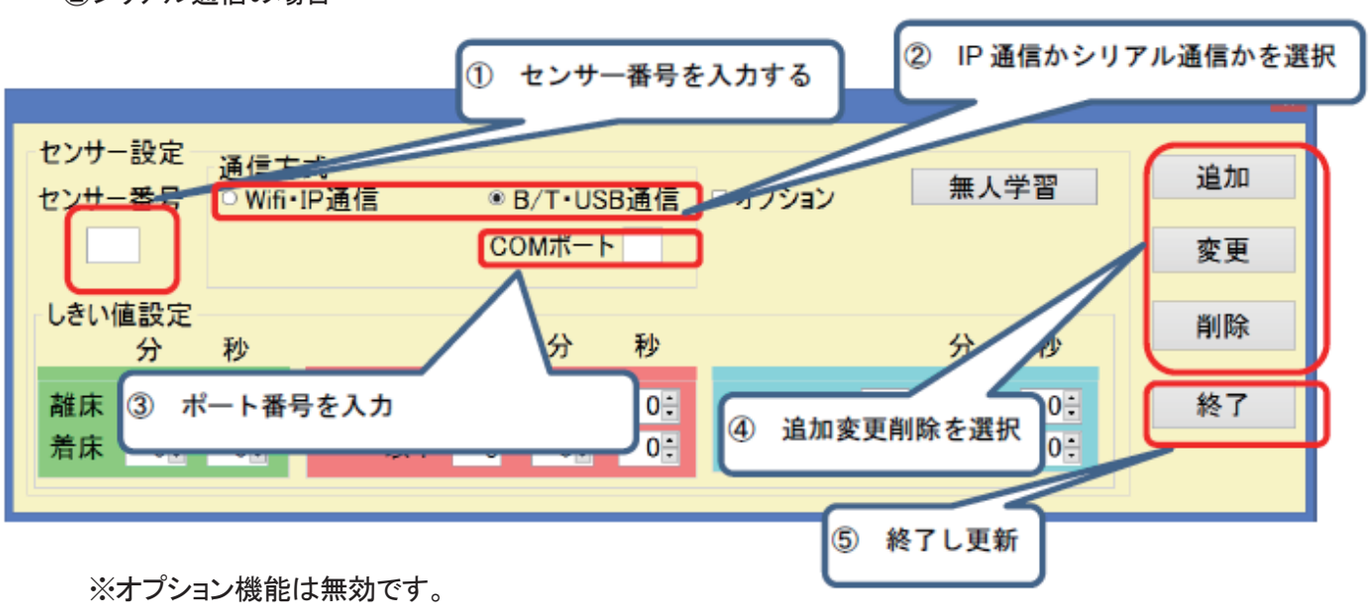
(6) センサーの設定

ミマモリ君画面の上部にある「センサーメンテナンス」をクリックして、 パスワードを入力します。以下の手順に従い、 センサーの設定に対する追加・変更・削除ができます。

① Wifi・IP 通信の場合



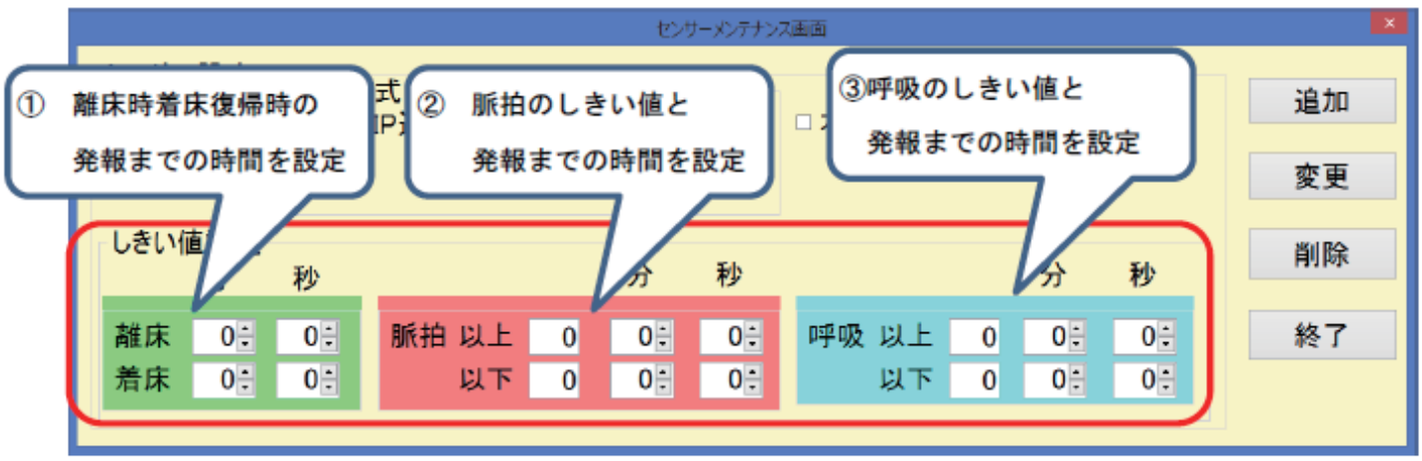
②シリアル通信の場合



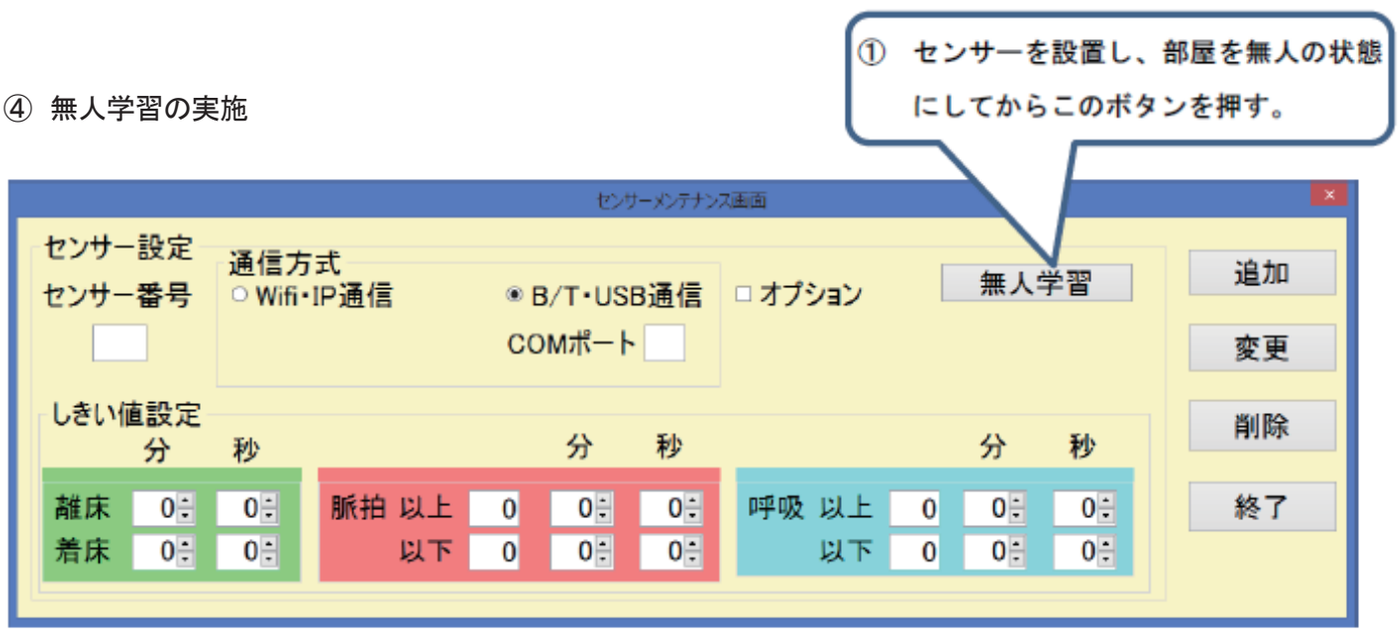
※オプション機能は無効です。

注意：追加・変更・削除ボタンを押しても、終了を行わないと変更内容は反映されません。

③ しきい値の入力

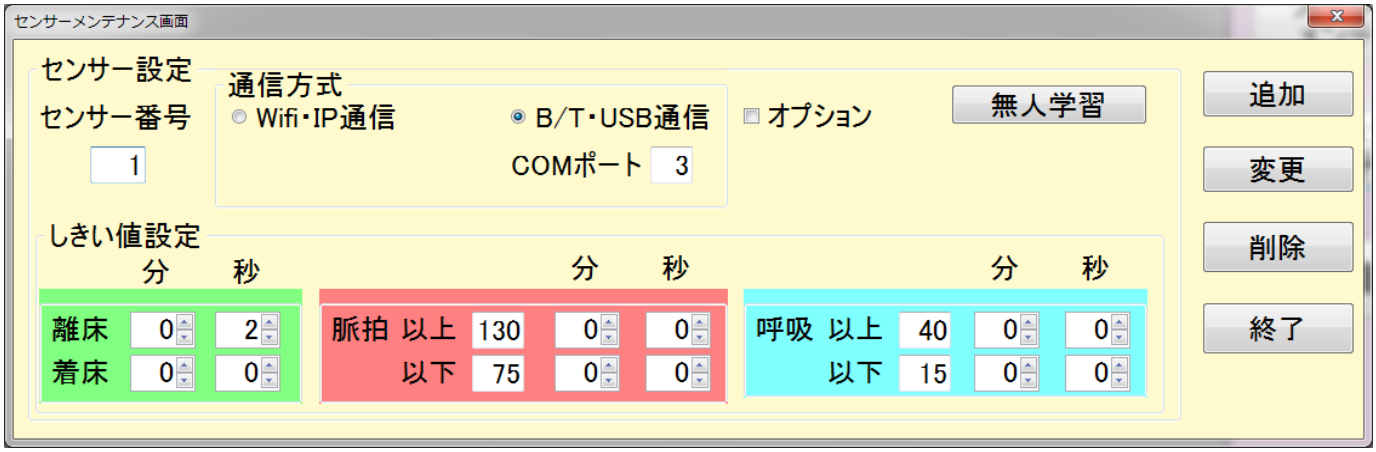


④ 無人学習の実施



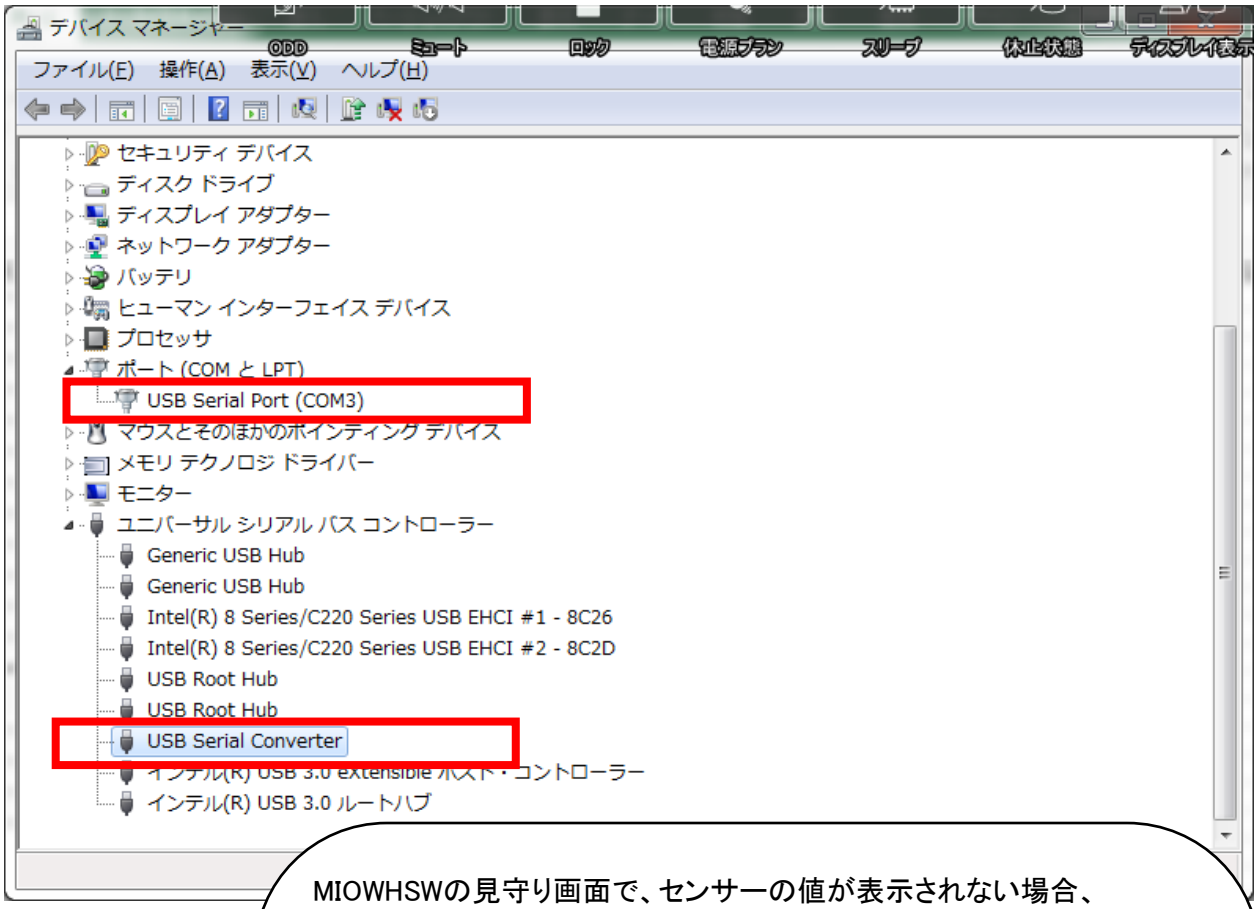
※無人学習は、 センサーごとに行ってください。

ミマモリ君のバイタルセンサーしきい値のめやす



- センサーは一人につき1台必要です。
- 1台づつ、個人のバイタル値を参考にしきい値を入力します。上図の値はめやすです。

ミマモリ君の見守り画面でバイタルセンサーの値が表示されない場合の対処方法



MIOWHSWの見守り画面で、センサーの値が表示されない場合、
USBドライバを削除して再インストールすると解決できます。

※バイタルセンサーをパソコンにつないだ状態で行います。
①コントロールパネルの「デバイスマネージャー」を開きます。
②USB　Serial Portを右クリックして削除します。
③削除をクリックすると以下の画面が出てきますので、
　「このデバイスのドライバーソフトウェアを削除する」にチェックを入れてOKを　クリックします。

④次に、USB　Serial Converter を右クリックして同様に削除します。
　同じく「このデバイスのドライバーソフトウェアを削除する」にチェックを入れて削除します。
⑤バイタルセンサーのUSBをいったん抜き、差込みしなおします。
　パソコン側でUSBドライバーをインストールしなおします。
以上です。

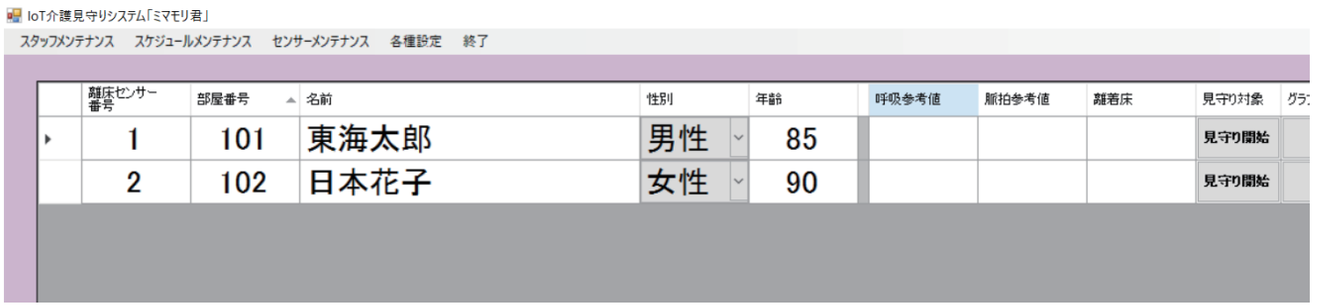
IoT 介護見守りシステム

ミマモリ君ローカル

■操作編

2. 見守りの開始と停止

部屋番号、 名前、 性別、 年齢を入力し、 見守り対象ボタンを押すと見守りが開始されます。
見守り中は、「見守り開始」ボタンが「見守り中」に変わり、 背景の色が青に変わります。
見守り中ボタンをマウスでクリックすることにより、 見守りを停止します。



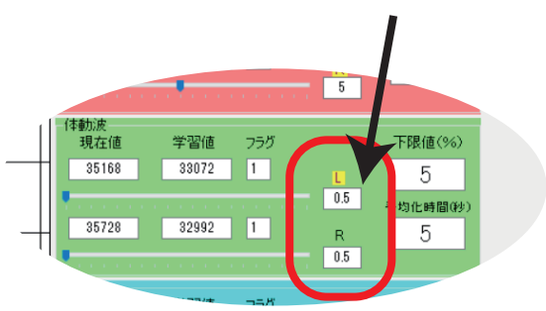
見守り中の対象者について、「グラフ表示」ボタンを押すことにより、グラフ表示を行うことができます。
各見守り対象者の「グラフ表示」ボタンをマウスでクリックすることにより、見守り処理を停止して
グラフ表示画面を表示します。

グラフ表示中は、グラフ対象者の見守り処理は停止していますので、この間のアラート検出および
アラートメールの送信は行いません。

グラフ表示は、画面の「終了」をクリックで終了し、見守り処理を再開します。

なお、グラフ表示は USB 接続のバイタルセンサのみ起動することができます。

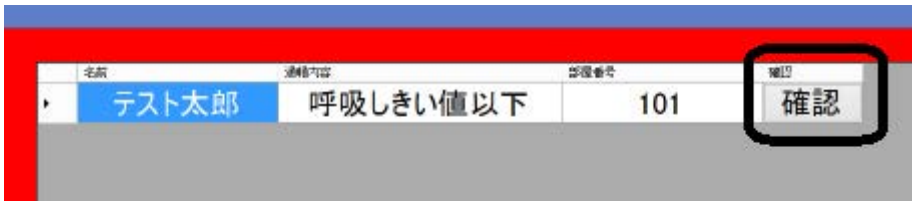
グラフの波形が極端に小さかったりした場合は、この数値を変更してください。
例図は、デモ用のため 0.5 となっていますが、基準は 2.5（メートル）です。



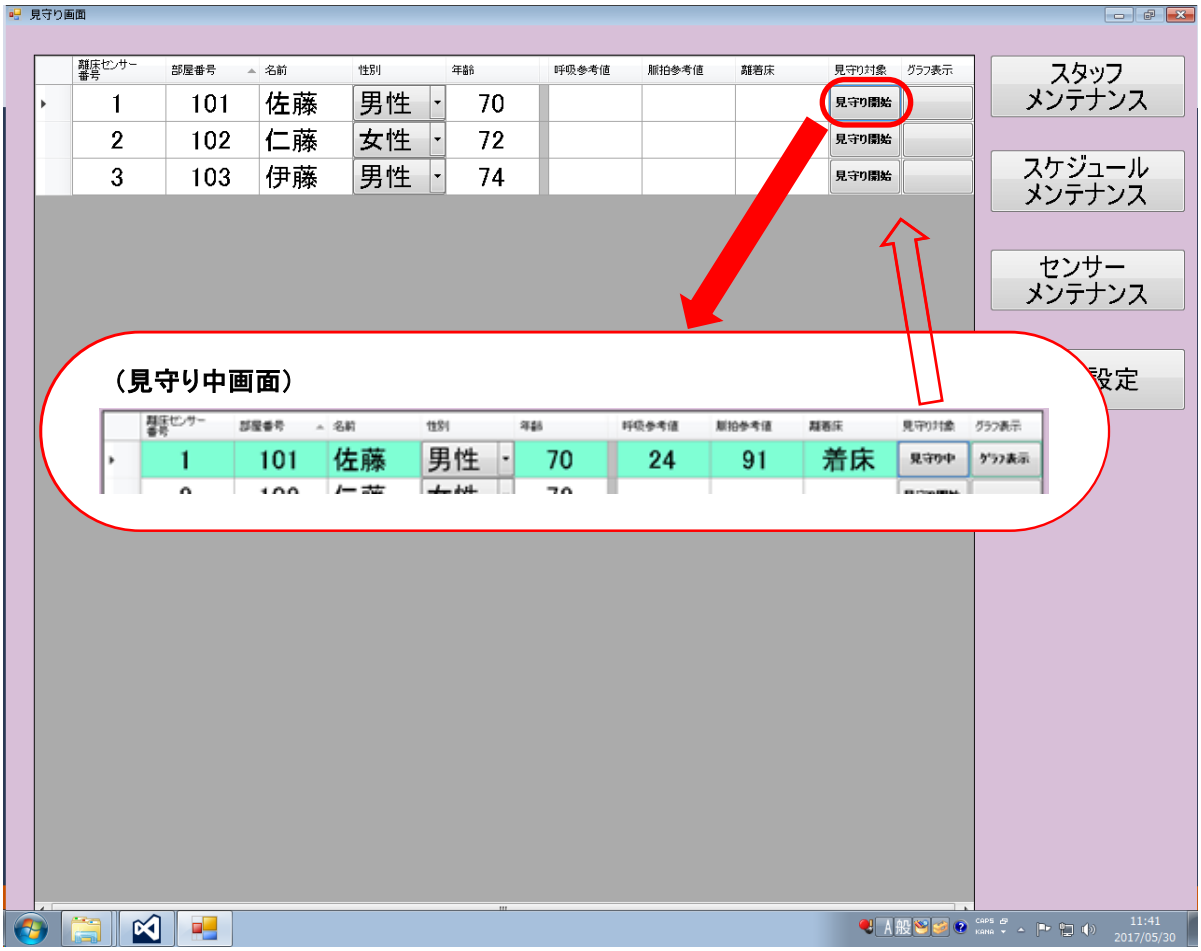
3. 発報時の対処

センサーメンテナンスで設定したしきい値を越えた状態が続くと警告画面が出力される警告が複数発生した場合は警告画面に複数行の警告画面が出力されます。

警告画面は画面の確認ボタンを押せば消えます。ただし、引き続き対象者のバイタルがしきい値を下回る場合は続けて警告画面が出ますので、いったん見守りを終了してください。

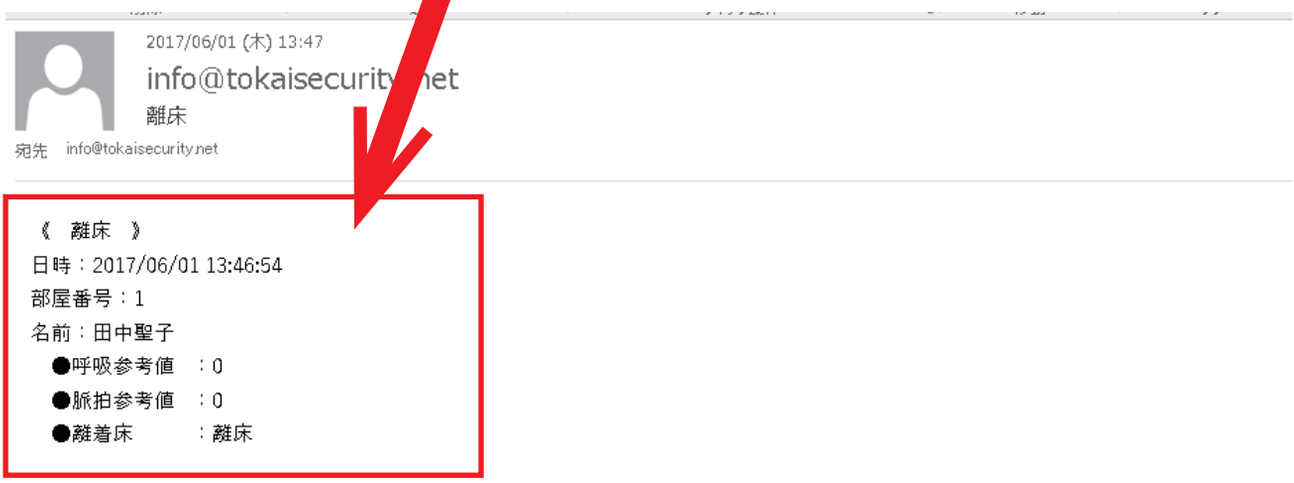


※警告画面が出たとき、「確認」ボタンを押さないと何度も警告画面とメールが発信されますので、速やかに確認ボタンを押した後、見守り画面を表示させ、見守りを解除してください。

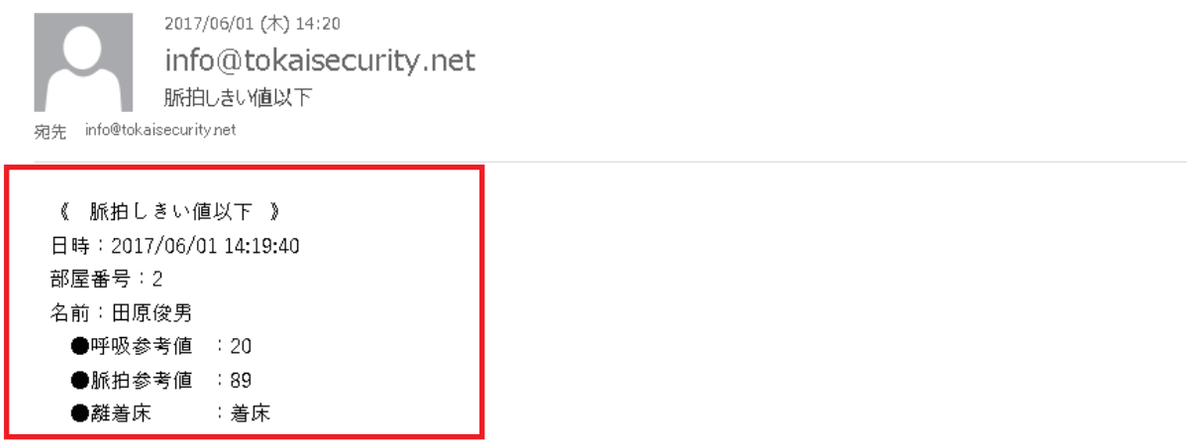


●メール通知　受信例

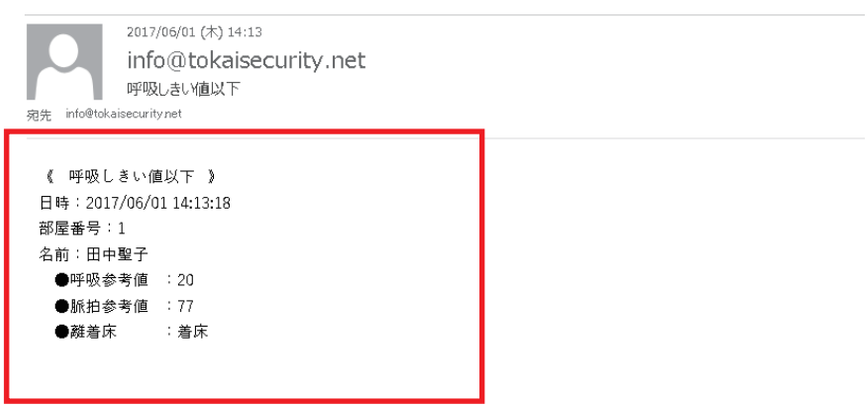
◆「離床」通知メール受信例



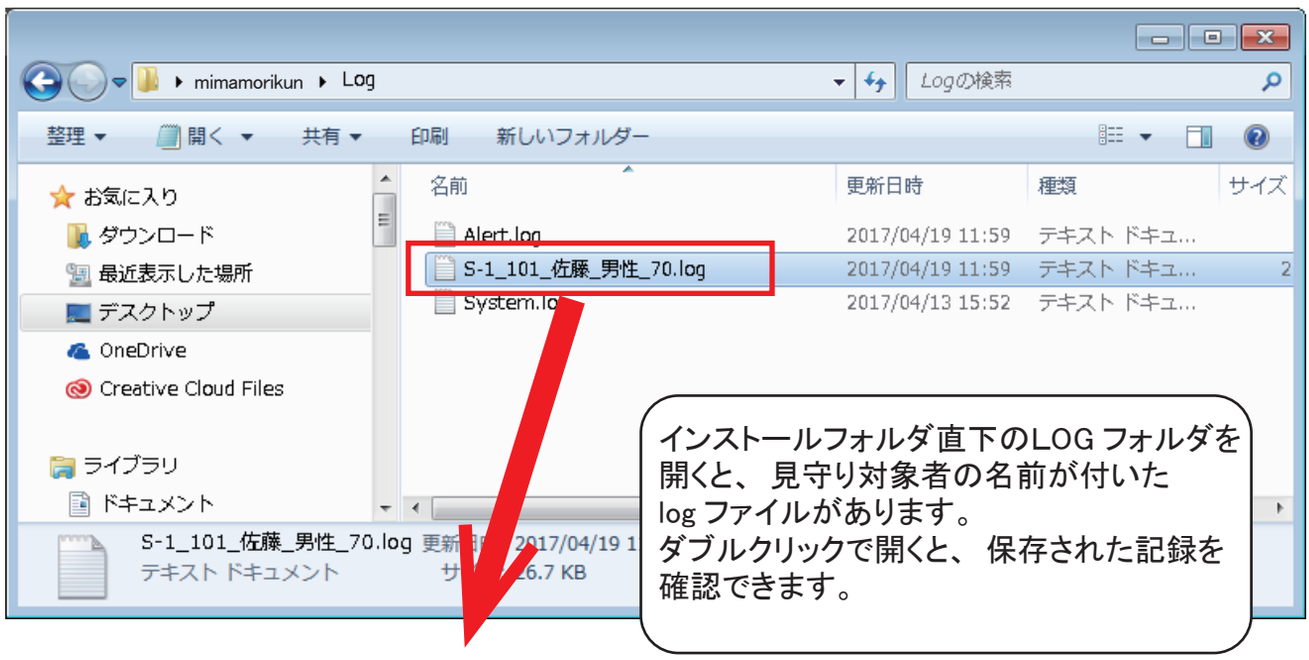
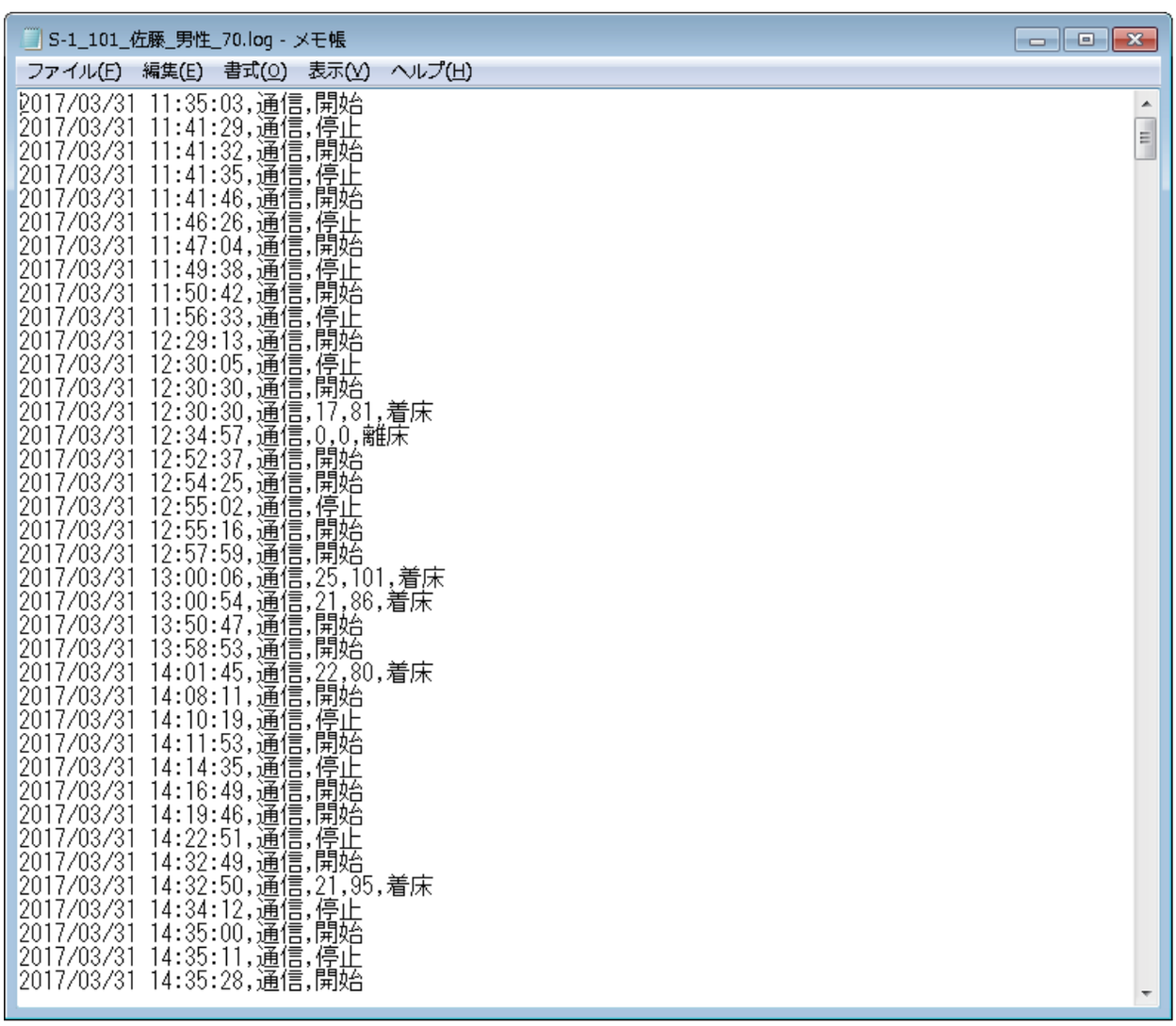
◆「脈拍しきい値以下」通知メール



◆「呼吸しきい値以下」通知メール



4. ログ確認方法

インストールフォルダ直下の「LOG」フォルダに、 各見守り対象者の名前がついたログデータが保存されています。
ログデータは、 下記の順で出力されます。

＜日時、 通信状態、 呼吸参考値、 脈動参考値、 離着床状態＞